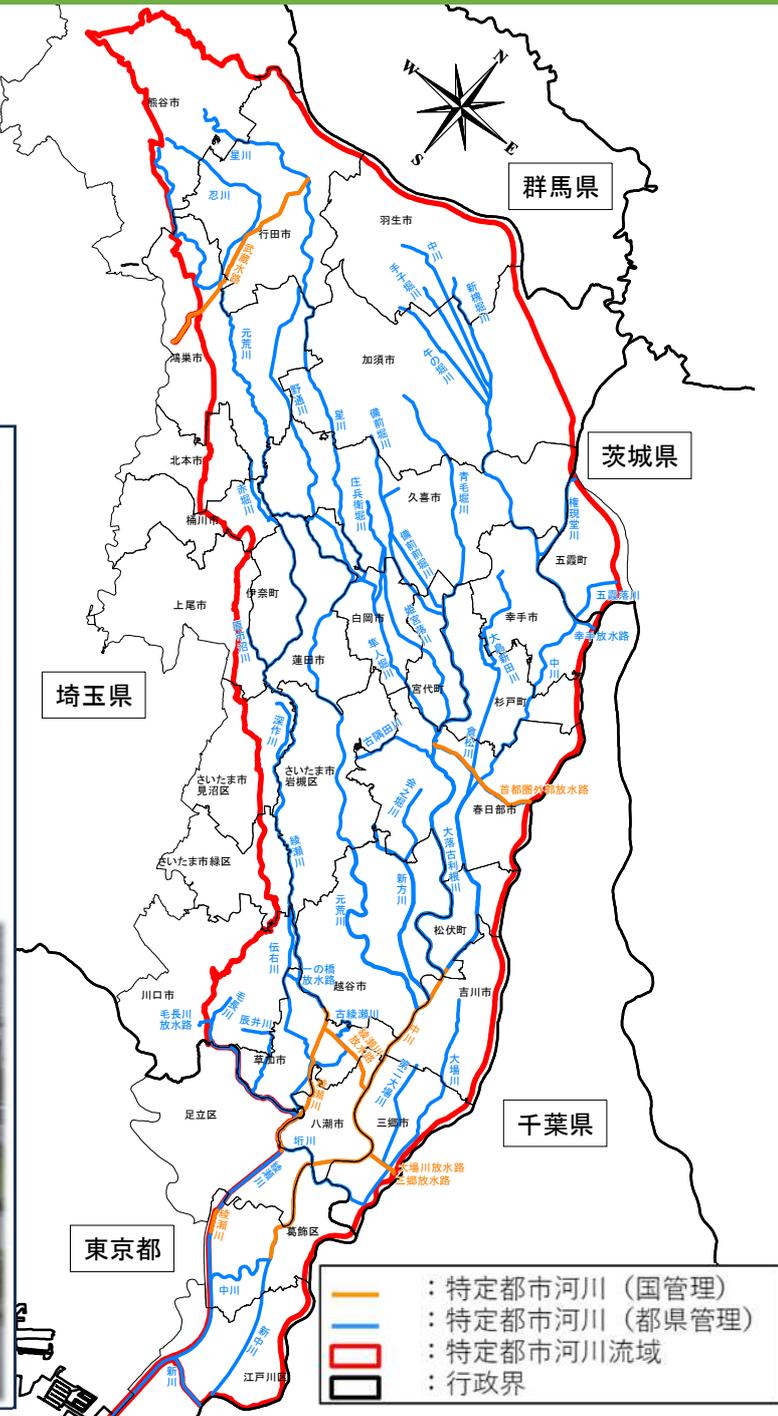


中川・綾瀬川流域は、令和6年3月29日に 「特定都市河川」に指定されました



近年の浸水被害

平成27年関東・東北豪雨



越谷市(せんげん台駅東口)

令和5年6月台風第2号による大雨



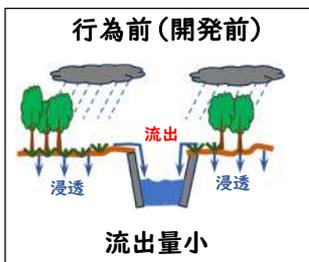
松伏町外河原地区

指定の目的 ▶▶▶ 流域治水を更に推進し、水害に強いまちづくりへ

市街地の密集する中川・綾瀬川流域において、**気候変動に伴う水害の発生リスクの増大**という新たな課題や将来を見越した遊水地域の保全・活用等の必要性等を踏まえ、これまでの総合治水対策を生かしながら、**将来に渡って安全な流域を実現**していくため、**特定都市河川に指定**することで、更なる治水対策を早期に推進するとともに、**水害に強いまちづくり**を目指します。

特定都市河川浸水被害対策法に基づき、流域での対策をお願いします

開発行為などにより雨水が地面にしみだみにくくなる分について、**流出を抑制する対策**をお願いします。



雨水浸透
阻害行為

流出抑制
対策を
行わないと...



詳細は裏面参照 ↑

行為前(開発前)の
流出量に抑える対策
(雨水貯留浸透施設
の設置)を実施



流出増分を
対策する

行為前の
流出量に
抑制する

特定都市河川流域で雨水浸透阻害行為を行う際には、**流出抑制**のための**許可**が必要です。



◎中川・綾瀬川流域で行う**1,000m²以上の雨水浸透阻害行為**に対して、知事等*の許可が必要になり、**雨水貯留浸透施設の設置が義務付け**られます。

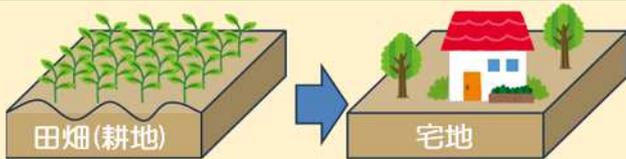
*等とは、政令指定都市・中核市の長、権限移譲市町長をいう。

申請先は行為を行う地域によって異なります。詳細は県HPを参照。 >>>>> アクセス用QR

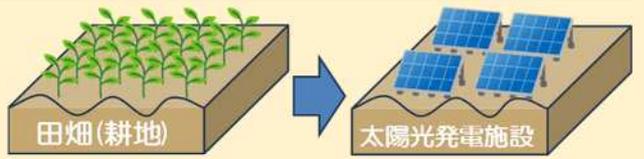


▶雨水浸透阻害行為（土地の締め固め等により雨水が地面にしみ込みにくくなる行為）の例

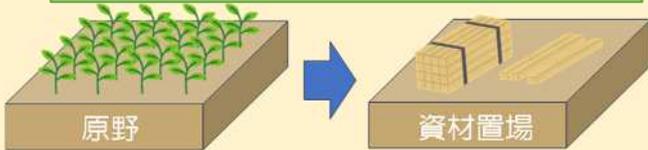
「宅地等以外の土地*」を「宅地等*」にするために行う土地の形質の変更



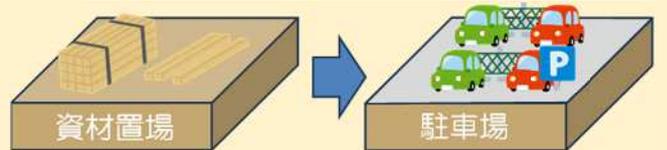
「宅地等以外の土地*」への「太陽光発電施設」の設置



ローラー等により土地を締め固める行為



土地の舗装（不透水性の材料で覆うこと）



*「宅地等」に含まれる土地：宅地、池沼、水路、ため池、道路、鉄道、飛行場

「宅地等」以外の土地：山地、林地、耕地、原野等（注：太陽光発電施設は宅地に該当）

▶対策工事の例

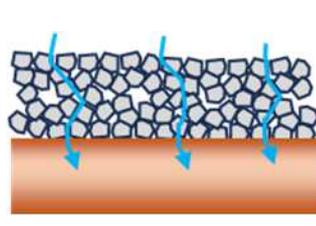
開発調整池



地下型貯留浸透槽



透水性舗装

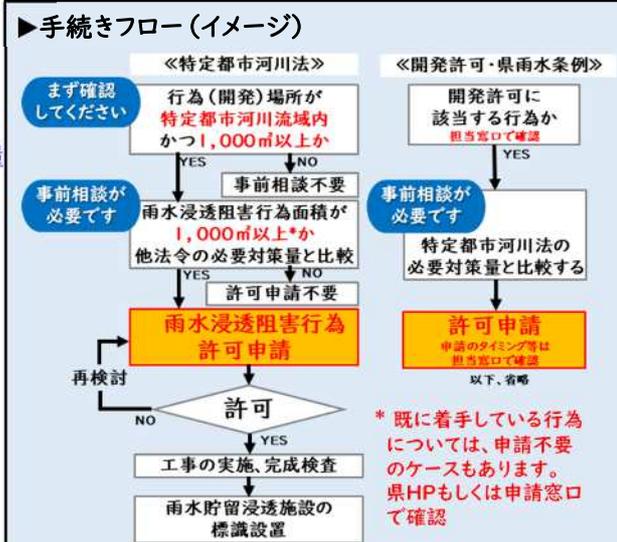
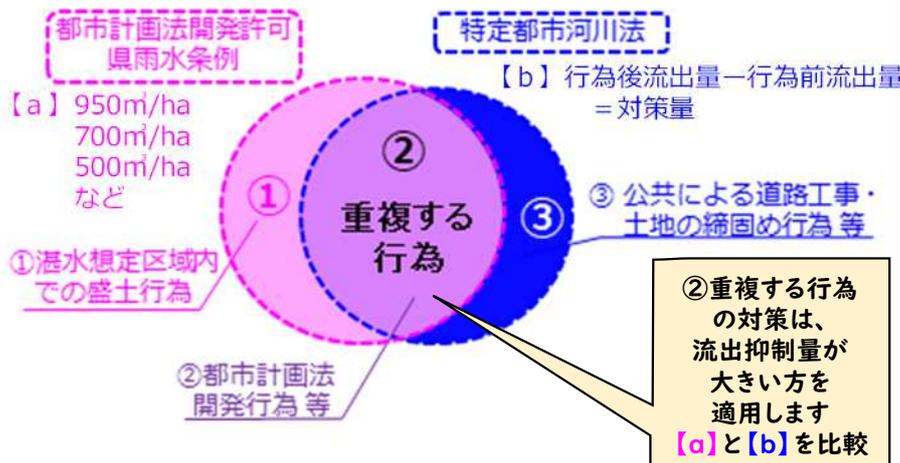


浸透枿



一方、埼玉県では、**都市計画法開発許可や県雨水条例**に関して流出抑制対策を求めてきました。今後は、各法令等で流出抑制対策が必要な場合、**流出抑制量が大きい方（規模が大きくなる方）を適用**します。

▶埼玉県では、従来より①と②の対策を求めてきました。今後は、中川・綾瀬川流域では、③の対策も必要になります。



お問い合わせ先

埼玉県 河川砂防課 計画調査・流域治水担当

電話：048-830-5164 E-mail: a5120-15@pref.saitama.lg.jp